

# 広報 はむら



初荷



だるま市

## 📖 主な記事

- 1** 新春特集 新春対談・新春イベント
- 7** 羽村市の暮らし・子育ての魅力「はむらブランド」として発信します！
- 9** イベント情報  
羽村市市民提案型協働事業 はむら市民ギャラリー（1月開催）／平成28年度スポーツリーダー養成講習会 など
- 13** 市政の情報  
羽村市都市計画審議会委員の市民公募委員を募集します／羽村にぎわい商品券 取扱い加盟店募集 など
- 17** 1月のテレビはむら
- 18** 情報アラカルト
- 23** 知ろう、支え合おう 認知症
- 25** こどものページ
- 26** 1月の相談日ほか



## 表紙の写真

### 羽村の一年の幕開け

新春はイベントが盛りだくさんです。市内のさまざまなイベントに参加して、良い一年のスタートを切ってみてはいかがでしょうか。  
※新春イベントについて詳しくは、3～6ページをご覧ください。

## 羽村市公式キャラクター



あけましておめでとうございます。2017年も、はむりんをよろしくお願ひします。今年も羽村市のPRがんばるりん！

はむりん



市政情報を発信しています

# 新春対談



# 市長と 語りろ う 2017



増田 真梨さん 羽村市長 並木 心 戸野 貴博さん

あけましておめでとうございます。  
新春を迎え、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。  
今回は二人のゲストをお迎えし、市長とともに、新春にふさわしく今年の抱負などを語っていただきました。

**司会** はじめに、市長から市民の皆様へ年頭のごあいさつを申し上げます。

## 転入・定住人口の増加を

**市長** あけましておめでとうございます。日ごろより市政運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、熊本地震や、11月の降雪など、災害や異常気象に悩まされた年でした。また、国外では歴史の転換点ともなり得るような出来事が起き、グローバル化する経済の中で羽村市の企業、事業者にも影響を与えるものであり、そのような中、自治体としての存在を改めて認識する一年であったように感じています。

今年度は、4月にスタートする「第五次羽村市長期総合計画」後期五か年の基本計画の策定に取り組んでまいりました。この計画を推進することにより、基

本構想に定める将来像である「ひとが輝き、みんなでつくる、安心と活力のまち はむら」の実現を目指してまいります。

また、市では、シティプロモーションを強気に押し進めています。昨年11月には、公式PRサイト「はむら」を立ち上げました。「はむらブランド」を積極的にPRし、転入人口や定住人口の増加につなげていきたいと考えています。

羽村駅西口土地区画整理事業につきましては、昨年度から本格的なハード事業に着手し、槌音を響かせております。引き続き、市の最重要施策として、関係権利者の皆様のご理解をいただきながら、事業の着実な進展を図ってまいります。

今年も市民の皆様と手を携えながら、行政運営に取り組んでまいります。

**司会** さて、今回は、増田真梨さんと戸野貴博さんをゲストに

お迎えしました。

## 日本茶のブランドの立ち上げ

**市長** 日本茶の販売を始められたきっかけは何だったのですか？

**増田** 夫の実家が、90年続く日本茶の専門店を営んでいて、おいしさに衝撃を受け、この感動を世の中の人にもっと広めたいなど思ったのがきっかけです。

また、息子にもおいしい日本茶を飲ませたく、赤ちゃんでも飲める日本茶を自分で作ろうと、ブランドを立ち上げました。

**市長** 増田さんの日本茶にはどのような特徴があるのですか？

**増田** 苦みを抑える製法で作っています。茶葉は、化学肥料や農薬を一切使用していない静岡県産オーガニック茶葉を100%使用しています。そうした親子で楽しめる新しい日本茶のスタイルを提案しています。



増田 真梨さん

静岡県浜松市出身で、子育て中のママ。

平成27年に羽村市へ転入し、子育て中のママと赤ちゃん向けの日本茶のブランド「RICCO Japan」(リッコジャパン)を立ち上げ、「赤ちゃんとママが安心して飲むお茶」の普及に精力的に取り組んでいる。